

# One Control BJF-S100

User Guide ユーザーガイド  
CONGRATULATIONS ON YOUR PURCHASE!!!

このたびは、ワンコントロール、ビージェーエフエスヒャクをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
本機の性能を十分に発揮するため、また誤使用による不具合を防ぐためにこの説明書をよく読んでお使い下さい。



- ・ INPUT : 楽器やエフェクトボードからのケーブルを接続します。

## Lead チャンネル

- ・ GAIN : 歪みの強さを調整します。高いゲインまでカバーします。
- ・ MID : 中域の音色を調整します。
- ・ BASS : 低域の音色を調整します。
- ・ TREBLE : 高域の音色を調整します。
- ・ TIME : Lead チャンネルにかかるディレイのディレイタイムを調整します。
- ・ LEVEL : Lead チャンネルにかかるディレイの音量を調整します。
- ・ REPEAT : Lead チャンネルにかかるディレイのフィードバックを調整します。
- ・ CLARITY : 音色を少しブライトにして明瞭にします。
- ・ BODY : 音色の中低域を少し膨らませます。音色自体は大きく変わりません。
- ・ PRESENCE : TREBLE よりもさらに高域の音色を調整します。
- ・ MASTER LEAD : Lead チャンネル全体の音量を調整します。

## Rhythm チャンネル

- ・ GAIN : 歪みの強さを調整します。高いゲインまでカバーします。
- ・ MID : 中域の音色を調整します。
- ・ BASS : 低域の音色を調整します。
- ・ TREBLE : 高域の音色を調整します。
- ・ TIME : Rhythm チャンネルにかかるディレイのディレイタイムを調整します。
- ・ LEVEL : Rhythm チャンネルにかかるディレイの音量を調整します。
- ・ REPEAT : Rhythm チャンネルにかかるディレイのフィードバックを調整します。
- ・ PRESENCE : TREBLE よりもさらに高域の音色を調整します。
- ・ MASTER RHY : Rhythm チャンネル全体の音量を調整します。
- ・ CHANNEL : チャンネルを切り替えます。



- ・ EFFECTS LOOP : プリアンプとパワーアンプの間にエフェクトを接続する際に使用するシリーズエフェクトループです。SEND からエフェクトのインプットに、エフェクトのアウトプットから RETURN にケーブルを接続します。
- ・ PREAMP OUT : プリアンプからのシグナルを出力します。外部パワーアンプを使用したり、外部スピーカーシミュレーターを通してライン出力する際に使用します。ここにプラグを接続すると、SPEAKER 設定からシグナルは出力されません。
- ・ SPEAKER : スピーカーケーブルを接続します。30W/16Ω、66W/8Ω、100W/4Ω となります。
- ・ FS-P3B : One Control FS-P3 フットスイッチ (別売) を接続します。
- ・ FOOTSWICH (CHANNEL) : チャンネル切り替えを制御するラッチスイッチを接続します。
- ・ FOOTSWICH (FX LOOP) : エフェクトループの ON/OFF を切り替えるラッチスイッチを接続します。
- ・ FOOTSWICH (DELAY) : デレイエフェクトの ON/OFF を切り替えるラッチスイッチをモノラルケーブルで接続します。
- ・ DC IN : 専用のアダプターを接続します。

One Control B.J.F.-S100 は、特に 1960 年代後半から 80 年代初期までのロックサウンドを支え、今でも“ロック”アンプの代名詞として語られる“プレキシ”ブリティッシュアンプサウンドを超小型、超軽量かつラウドに甦らせるアンプヘッドです。

ソリッドステートのプリアンプとクラス D パワーアンプを組み合わせることで、小型軽量かつラウドなトーンを実現しました。アナログソリッドステート回路では、60 年代から生産された真空管アンプヘッドのトーンをモデルに開発され、実際の真空管アンプヘッド全体と同様の動作をするよう作られています。単にプリアンプを再現しただけのものではなく、パワーアンプでの動作やフィードバックまでを再現しています。

また、当時のアンプと同時に使用されることの多かった“あの”テープエコーを再現した、最大 600ms のディレイを組みこみました。テープエコーのテープヘッド同様、フィードバックを繰り返すと音が暖くなり、歪みが増えていきます。この暖かなトーンはプレイを邪魔せず、ギタートーンに奥行きを加えることができます。

BJF-S100 のプリアンプセクションは 2 つのチャンネルで構成されています。Lead チャンネルは真空管アンプをプッシュしたときの歪みを作ります。単に似た音で歪むだけではなく、ギターのボリュームやタッチでコントロールできる表現力やプレイフィールまでを再現しています。

また、ゲインレンジをさらに広げ、“改造したアンプヘッド”の持つブラウンと呼ばれるトーンまでカバーします。

Rhythm チャンネルは、特に 60 年代後半ごろの伝説的なギタリストが使用したクリーントーンをモデルとしています。GAIN を上げればブリティッシュなオーバードライブトーンを作ることもできます。

それぞれのチャンネルで Master、Presence、トーンスタック、ディレイを個別に設定できるので、リズムとリードで最適な音色を作り、さらに奥行きを変えるように使うことも可能です。

BJF-S100 は、最も一般的なスピーカーの 1 つとしてよく知られる“V30”スピーカーをはじめ、多くのブリティッシュスタイルのギターキャビネットで優れたトーンを作ることができます。特に Celestion G12MH や Celestion EVH スピーカーで最もポテンシャルを発揮します。

BJF-S100 は、4Ω で 100W 出力となり、8Ω で 66W、16Ω で 30W 出力となります。

#### ●スペック

- ・アウトプット : 30W/16Ω、66W/8Ω、100W/4Ω
- ・各チャンネル独立したトーンスタック
- ・チャンネルごとに設定できるテープエコースタイルのディレイ
- ・ディレイエフェクト : フットスイッチによる ON/OFF 対応、最大 600ms
- ・サイズ : 26.5(W)×9.5(D)×8.5(H)cm (突起含まず)  
26.5(W)×11.8(D)×10.3(H)cm (取っ手折りたたみ時)
- ・重量 : 1.76kg

付属のアダプターに取り付ける電源コードは、本機専用のものとなります。他の電子機器等にご使用いただくことはできません。